



「存じですか？」外国人技能実習生

トルク精密工業株式会社の実習生 サックさん(左)とハーさん(右)

外国人技能実習制度は、開発途上地域などの外国人を日本で一定期間受け入れ、仕事現場での訓練を通じて技能を伝える制度です。「人づくり」で実習生の国の経済発展に協力するという国際貢献の役割を果たしています。

「働き」に来ているのではなく「学び」に来ています

外国人実習生は一般的に3年間、実習先の企業・団体に働きながら訓練をしています。

企業側は実習生を貴重な労働者として雇用していますが、国の法律では、単なる外国人労働者の雇用であってはならないと定められています。

そのため、外国人実習生は日本に在留する間に技能検定試験を受け、合格しなければなりません。所定の試験に合格しなければ1年で在留資格がなくなってしまうこともありますので、一生懸命勉強しています。

日本語教育も大切です

実習や仕事の現場では「言葉の壁」にもぶつかります。日本語で会話ができなければ、仕事を教わることも難しいでしょうし、日本での生活にも支障をきたすことでしょう。

外国人にとってなじみの薄い「日本語」はとても難しい言語だ

と思いますが、実習生は仕事の技能だけでなく、言葉の勉強もしなければなりません。

赤平の取り組み

赤平市には技術力の高い企業が集まっていて、国際貢献の考えに賛同して外国人を受け入れる企業が増えています。

赤平市産業振興企業協議会（産企協）では、本年度から「外国人企業教育推進事業」を行い、企業に対して日本語講師による教育をすすめる、企業と外国人実習生が円滑なコミュニケーション

を図れるように支援しています。日本語を学ぶことで、仕事面でもより高度な技能を伝えることができ、日常生活でもトラブルが避けられるようになります。また、今後、外国人の受け入れを考えている企業も安心して始められるのではないのでしょうか。

「おもてなし」の心で

報道などで外国人によるトラブルや、企業側が労働力不足の解消だけでこの制度を活用しているのではないかとという事例が取り上げられることがあります。

赤平市の外国人実習生は真面目な方が多く、職場だけではなく町内会にも溶け込んでいます。赤平市では、市と産企協、受け入れ企業・団体が協力し合って、外国人実習生が技能や日本語を学びやすい環境づくりに取り組んでいます。

皆さんも温かい「おもてなし」の心で外国人実習生を受け入れていただけたらと思います。

外国人技能実習生

ファン・ティ・サックさん (ベトナム)

好きな日本語

- ・失敗は成功の母

赤平で一番好きな場所

- ・茂尻のまち(毎朝散歩していました)



3年間の技能実習を終えて

外国人として、日本(赤平)に来てみなさんに支えてもらい楽しい3年間を過ごすことができました。

3年間の思い出で、今でも忘れられないことは、日本に来て初めての会社の忘年会や町内会パーティーに参加したこと。すぐく緊張して参加したことを覚えていますが、皆さんに優しく接してもらい、ゲームなどと一緒にできて緊張を忘れるくらい楽しかったです。

そのほかにも、みんなでボウリングに行ったり、ワカサギ釣りをしたり、雪だるまをつくったり、仮装盆踊りにお店でもマネできないような素敵な手作り衣装で参加したり、数えきれないほどの思い出があります。

外国人が日本で生活することは大変なことだと思っていましたが、勉強も仕事も楽しくできました。会社の皆さんには仕事を教えてもらって技能検定3級に合格することができました。また、(産企協事業の)日本語の

先生に教えてもらって、日本語能力検定N2(2級)にも合格できました。日本語の検定に合格することは目標のひとつでしたので嬉しかったです。技能と日本語の検定に合格できたのは、いつも声をかけてくれた会社の皆さんの支えがあったからです。

ベトナム人は日本に憧れている人が多いです。日本で学んだこと、経験させてもらったことを忘れず、ベトナムでも頑張っていきたいです。日本の良さや文化もベトナムの人たちに伝えたいです。そして将来、日本語をいかして、国の役に立てるような人になりたいです。そのためにもっともつと日本語の勉強をしたいと思います。

もう少して、ベトナムに帰国しますが、すごく寂しいですし、帰りたくない気持ちがあります。社長をはじめ、会社の皆さん、町内の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。機会があれば日本にまた帰ってきたいです。みんな大好きです。

みんな大好きです。



トルク精密工業株式会社 代表取締役社長

高橋 新作さん

ここで学んだ技術を
ベトナムへ

トルク精密工業株式会社には、ベトナムから技能実習生として5名の方が来ています。あくまでも労働者としてではなく、実習生として来てもらい、ここで学んだ技術をベトナムに持ち帰ってもらえればと考えています。

また、仕事や勉強だけではなく、町内会行事やごみ拾いに参加し、成人式や赤平のお祭りなど日本の色々な文化にも積極的にふれてもらっています。

サックさんは、技能検定3級のほかに、日本語能力検定N2(2級)にも合格し、仕事も日本語の勉強も一生懸命していました。仕事でもすぐ真面目で、不良品を出したことが一度もないほど、正確に作業をしてくれました。限られた期間の実習生なので仕方ないですが、帰国してしまうことがとても残念です。

企業にとっても技能を広めることで国際貢献ができるのは嬉しいことです。今後も技能実習生を受け入れていきたいと思っています。